

教校部「特殊講義（逆謗除取）」中西昌弘

『大經』の第十八願及び第十八願成就文に、「ただ五逆と誹謗正法とをば除く」と五逆と謗法の罪を犯した者は、阿弥陀仏の救いの対象から除かれると説かれている。

しかし、『観經』下々品には、十悪五逆の者が十念念仏によって往生することを得たと説かれている。

この二經の相違を手がかりとして、五逆や謗法の重罪を犯した者は、阿弥陀仏の本願から除外されるのか、それとも撰取されるのかを論じ、悪人正機の本意を明らかにすると共に、念仏者の倫理の根源を示すものとしても重要である。